

東奥日報

2018年(平成30年)11月5日月曜日(10)

東北

スッポン1500匹 水揚げ手伝い

八工大野球部

東北町の東北すっぽんフ
ームは10月28日、七戸町
李沢の養殖場でスッポンの
水揚げ作業を行い、応援に
来た八戸工業大野球部の部
員15人が、1キタ前後に育
ったスッポン約1500匹
を飼育用水槽から出荷用水
槽に移し替えた。

同社のスッポンは植物性
泉の源泉掛け流しで育ち、
冬眠しないため飼育期間が



水槽の中から探し出したスッポン
をバケツに入れる野球部員たち

通常の3年から1年に縮ま
った。臭みがほとんどない
上に身が厚く、東京都を中
心に料理ガイド本・ミシユ
ランの星を獲得した店や専
門店などで高い評価を得て
いる。

昨年から年5千匹を出荷
する態勢に拡大。八工大野
球部の笹田公烈監督が甲
地慎一社長の恩師という
縁で、昨年に続き部員が水
揚げに協力した。部員3人
が水槽の砂の中にあるスッ
ポンを探し出し、上にいる
仲間がバケツに入れて計測
場に運び、体重を記録して
出荷用水槽に移していっ
た。

伊藤蓮主将
は「昨年もや
ったので効率
良くてきてい
ると思う。社
会貢献の経験
をこれから生
かしていきたい
」と話し、
甲地社長は
「学生の協力は
ありがたい。これ
からも県内外で販
路拡大を目指
したい」と語
った。

(藤島玄)

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」